

# 事業概要：みんなの声が響く「くみやまっこまんなか」プロジェクト事業

申請者	京都府久御山町				初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,027,485千円 (239,840千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野（大項目） 地場産業支援関連事業

**目的・効果**

本町の北西部の農村地域は市街化調整区域であるため新たな住宅が建てられず、若者を中心に町外への転出が目立ち、町の南部には住宅地があるものの空家もほとんどないほど飽和状態であり、転入を求める昼間人口や農村居住を志向する若者の受け皿がない状態である。若者や女性に選ばれる「職住近接」のまちづくりを進めると同時に、町外から通勤する昼間人口をはじめ町外の人々に興味を持ってもらう仕掛けと地域の人々が集まる環境づくりを進めることで、町外からの人口流入と現在の住民の町外への流出抑制を目指す。

**【事業概要】**

現在建築中の「全世代・全員活躍まちづくりセンター」をはじめとした、町に点在する「拠点」での交流人口増を目指すことで町に興味を持ってもらうきっかけを創出。

- ・「みまきこ応援村」のハード整備を行い、地域の人々が集まる環境づくり。
- ・新市街地に「住街区促進ゾーン」及び周辺の住環境と調和した「産業立地促進ゾーン」を設け、経済的発展、町外転出の抑制及び2倍を超える昼間人口の職住近接を図る。
- ・国の「優良田園住宅の建設の促進に関する法律」の適用を受けたエリアを設定し、農村居住を志向する人の移住・定住を促進することで豊かな田園地帯の活性化を図る。

**事業概要・主な経費**

※経費内訳はR8年度事業費

**【ソフト事業】**

- ・グランハット開館に向けた機運醸成イベントの開催(委託料)10,486千円
- ・久御山中央公園における「まちのにわ構想」の取組(委託料)22,700千円
- ・地域主体で実施するイベント等取組に対する補助(補助金)5,520千円
- ・住街区整備におけるエンジニア配置(委託料)41,536千円
- ・優良田園住宅建設計画策定(委託料)8,000千円

**【拠点整備事業】**

- ・建築物本体工事 地域の人々が集まる拠点整備 56,322千円

**主なKPI**

※カッコ内の数値は実施計画におけるKPI増加分の累計の目標値

- ①人口(+580人)
- ②全世代・全員活躍まちづくりセンター、(仮称)MIZUBE STATION、久御山中央公園、まちの駅クロスピアくみやまでのイベント参加者数(+3,000人)
- ③「くみやまっこ」交流拠点利用者数(+1,750人)
- ④新市街地(みなくるタウン)の整備における新たな住居用地の面積(+3ha)
- ⑤新・農村人(アグリパーソン)累計移住者数(+14人)
- ⑥農商工連携累計事業数数(+16件)

**みんなの声が響く「くみやまっこまんなか」プロジェクト事業**

出生数の減少、転出超過が続く本町においては、共働き世帯やひとり親世帯の増加、地域とつながりの希薄化が進み、経済的な負担軽減や寄り添い型の伴走支援、相談対応という行政だけの子育て支援策だけでは不十分。子育て家庭を支え、若者・女性が「こどもを産み育てたい」と思える環境づくりが重要。  
 せうじらひ。本町では、既存の公共施設や再整備中の公共施設を官民連携の拠点として次世代を担う子どもをはじめ、若者や女性あらゆる世代「くみやまっこ」が交流・活躍するイベント等を実施する住民団体が次々と連携しながら活動。加えて、職住近接を回り、若者・女性が「住みたい」と思う市街地形成を推進している。

<p><b>I 交流拠点活用支援事業</b></p> <p>①全世代・全員活躍まちづくりセンター「グランハット」活用をコアにした交流促進の取組 令和8年度開催予定の「全世代・全員活躍まちづくりセンター」をコア拠点とし、希薄化した地域の交流を促進 <b>22</b></p> <p>②(仮称)MIZUBE STATION賑わいづくり 若者きずなを活用し子どもを中心としたアクティビティ体験を実現 <b>999千円</b></p> <p>③久御山中央公園における「まちのがっこう」の取組 コア拠点と連携し、あらゆる世代の輝いの場を創設。 <b>999千円</b></p> <p>④まちの駅クロスピアくみやま等における農商工連携事業 隣接する大型商業施設との連携も視野に入れ、イベント等を実施 <b>999千円</b></p> <p><b>II くみやまっこ(地域の人々)が集まる環境づくりへの取組</b></p> <p>①くみやまっこ交流拠点推進 各校區での住民主体による(仮称)くみやまっこ交流検討委員会設立、創設工実した項目のイベント実施。</p> <p>②くみやまっこ全世代交流支援事業 子どもを中心に地域の人々が集まる多岐にわたる仕掛けに対して補助金を交付。</p>	<p><b>III 若者・女性に選ばれる職住近接のまちづくりへの取組</b></p> <p>①職住近接のための住街区整備準備 多くの事業所が集積する本町に通勤する従業員をターゲットにした新たな住街区整備。</p> <p>②安定した就労環境と雇用の確保 職住近接で就労を希望する人と労働力を確保した企業とのマッチングを図る。</p> <p><b>IV 新・農村人(アグリパーソン)の農村生活支援</b></p> <p>①「くみやま 新・農村人」移住・定住促進 農村居住を志向する人を「くみやま 新・農村人」として認定し、移住・定住を促進</p> <p><b>拠点整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みまきこ応援村」拠点整備工事</li> <li>・住街区における緑地及び交流の道整備</li> </ul>
---	---

これらの活動を支援することで、若い世代が「子どもを産み育てたい」「住みたい・住み続けたい」と思い、出生数や社会動向の増を目指す。

**URL**

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

(交付金の具体的使途・実施体制・効果検証)

<https://www.town.kumiyama.lg.jp/000001780.html>

# 事業概要：旧巨椋池地区まちづくり推進事業

旧制度（推進）

申請者	京都府久御山町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	66,130千円（6,286千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野

**目的・効果**

- ・旧巨椋池地区（御牧地域）の地域活性化に資する賑わい創出や定住の促進を図る。
- ・旧巨椋池地区の自然の恵みを楽しむ歴史ある街並みと、近代設備等が共存するまちづくりを進め、食や文化、人・もの・情報が交流する要衝としてさらなる発展を目指す。

**事業概要・主な経費**  
 ※経費内訳はR8年度事業費

**【事業概要】**  
 大阪・関西万博を契機とした舟運活性化に取り組むことで、地域を訪れる交流人口・関係人口の増加を目指す。周辺に位置する巨大インフラの見学や新たな交流拠点としての活用を検討するとともに、隣接する「太閤堤」集落の活性化や、歴史的・自然的美観を利用した「おもてなし」の検討、試行的実施。  
 また、農業振興や賑わいの創出による定住を促進するため、収穫体験や各農業者が取り組む農産物直売のPR、住環境整備の検討を進める。

**【主な経費】**

- ・既存の巨大インフラ及び地域資源との「おもてなし」イベント等の試行
- ・旧山田家住宅の公開・絵画コンテスト開催（委託料、補助金、審査員謝礼）2,933千円
- ・前川桜並木「おもてなし」イベント実施（補助金）1,500千円
- ・特産品販売コーナーPOSレジ保守（委託料）465千円
- ・府内道の駅等との広域連携イベント開催（補助金）825千円



**KPI**  
 ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

- ①御牧地域の人口（+30人）
- ②旧山田家住宅入館者数（+150人）
- ③東一口桜並木観光入込客数（+600人）
- ④巨椋池排水機場・久御山排水機場見学者数（+150人）

**URL**  
 ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証）  
<https://www.town.kumiyama.lg.jp/0000001780.html>